

創刊110周年記念

# 誇れるふるさと 24地区リレー

〈vol.24〉

〈船木④ 散策マップ〉

旧山陽道に沿って東西に展開している船木地区。船木ふれあいセンター(①)を発着点とすると、周辺には女兒小学の徳基学舎跡、代官所、石炭発祥の地を記した碑などがある。同地区コミュニティ推進協議会の長谷川典彦会長やまちづくりサークルの田村敦義会長のアドバイスで約3キロの道のりを1時間かけて歩いた。



## 宿場町の面影、街並みたどる

### 岡崎八幡宮や一里塚跡、名所凝縮



センターから東側に進むと西向きに構える岡崎八幡宮(②)写真。境内にそびえるクスノキの大樹は、樹齢700〜800年。寄生するシイポルト・コギセルという巻き貝は、潮の干満で幹を上下するといわれ、古来より航海安全のお守りとして珍重されてきた。現在、清酒の醸造が許され

ているのは同宮を含め国内で4社しかない。南側に立つ旧奥社の鳥居をくぐると、一里塚跡(③)の由来となった大木森住吉神社(⑧)には、石造りのその橋などが残る。

手には願生寺(⑤)。境内には松下園という寺子屋跡の表示が立つ。盛期には約50人の生徒がいたといわれている。旧山陽街道を下ついでくと、付近には県が発行した「山口のすまい百選」に選ばれた不二醤油醸造(⑥)、原田火薬店(⑦)などかつての宿場町の街並みを見ることが出来る。山門が国の登録有形文化財に指定されており、境内は桜(つつじ)、新緑、紅葉と年間を通じてた景観地として知られる。

地区内では白壁の民家や商店が宿場町の面影を残し、懐かしい風景を見せてくれる。古き良き街並みを堪能しながら散歩してみてもいいだろう。

＝おわり＝